

## 5 朝鮮をめぐる対立と日清戦争（178～179ページ）

1 凶作

2 1894

3 日本

4 欧米諸国

5 甲午農民戦争

6 清

7 軍隊

8 改革

9 干渉

10 勢力範囲

11 1894

12 日清戦争

13 広島

14 近代装備

15 1895

16 下関

17 日清講和

18 独立

19 遼東

20 台湾

21 賠償金

22 利権

23 ロシア

24 遼東半島

25 三国干渉

26 大連

27 旅順

28 東清鉄道

29 朝鮮

30 琉球

31 台湾総督府

32 政党

33 立憲政友会

19世紀末の朝鮮では、重い税金に加え、(1 )と日本の商人による米の買い占めで米の値上がりが続きました。(2 )年、キリスト教(西学)に反対する宗教(東学)を信仰する農民たちを中心に、(3 )と(4 )を追い払い、朝鮮の政治改革を目指す反乱(5 )がおき、勢力を広げました。

(5)を鎮めるために、朝鮮政府が(6 )に援軍を求めると、日本も(6)に対抗して朝鮮に(7 )をおくりました。これを知った農民軍は朝鮮政府と和解しましたが、日本は朝鮮政府に(8 )を要求して、朝鮮王宮を占拠するなどの(9 )を行いました。そのため、朝鮮を自分の(10 )と考える清との対立が深まり、(11 )年、豊島沖で衝突が起こって(12 )がはじまりました。日本政府は、軍隊を派遣する拠点となる(13 )に議会を移し、首都の機能を担わせました。

清は大国でしたが、(14 )でまさる日本軍が勝利し、(15 )年に(16 )で(17 )条約(16条約)が結ばれました。その結果日本は清に朝鮮の(18 )を認めさせ、(19 )半島、(20 )澎湖諸島と、(21 ) (日本の国家予算の3.6倍)の賠償金を得ました。

(17条約)によって、日本が遼東半島を獲得すると、清で(22 )を広げたい(23 )は、フランスとドイツを誘い、(24 )を清に返すよう日本に迫りました。これを(25 )といいます。

日本には3国に対抗する軍事力がなく、遼東半島分のお金を清から得ることを条件にこれに応じたので、国民の(23)に対する不満が高まりました。清の力の衰えを知った欧米諸国は競って清に進出し、(23)は清から遼東半島の(26 )と(27 )を租借し、シベリア鉄道と接続する(28 )を清国内につくる権利を得ました。

日清戦争の結果、(29 )は清から独立し、日本と清の間にあった(30 )の所属問題や(29)をめぐる問題は消滅しました。また、日本は台湾に(31 )を設置し、植民地支配をすすめました。

ロシアとの対立から、国内では軍備の拡張で意見が一致したため、政府と(32 )の提携が進みました。1900年には、伊藤博文が自ら代表になって(33 )をつくり、政党政治が始まりました。

日清戦争とは、日本にとってどういう戦争だったのか、日清戦争の戦場になった場所を178ページで確認しながら説明してみよう。

## 6 日露戦争(180~181 ページ)

- 1 外国勢力 欧米諸国が進出する中で、清では(1 )を追い払おうとする動きが見  
2 1899 られました。(2 )年、山東省で(3 )が立ち上がり、  
3 義和団 1900年には清の軍隊とともに各国の大使館を包囲しました。その後  
4 清 (4 )をはじめとする列強8カ国はこれを破りました。この戦いを  
5 義和団事件 (5 )と言います。  
6 ロシア (6 )は、建設中の東清鉄道を義和団に破壊されたことを理由に  
7 満州 (7 <現在の中国東北部>)に大量の軍隊を送りました。そして(5)  
8 日本 以降も長くとどまって(7)を自分の勢力下に置こうとしました。朝鮮における利権  
9 イギリス を守りたい(8 )と、清における利権を守りたい(9 )は利  
10 1902 害が一致し、(10 )年に(11 )同盟を結びました。  
11 日英 (6)との交渉も行われましたが決裂し、日本では(11)同盟を後ろ盾にロシアとの会  
12 内村鑑三 戦を主張する意見が強くなりました、キリスト教者の(12 )や社会主義  
13 幸徳秋水 者の(13 )など反対する意見もありましたが、(14 )年、  
14 1904 ついに(15 )戦争が始まりました。  
15 日露 日本軍は苦戦の末、軍港の旅順や満州の拠点であった奉天でロシア軍を破りました。  
16 専制政治 しかし、戦争が長引くにつれ、兵力や弾薬が乏しくなりました。一方ロシアは、生活  
17 革命運動 の悪化と(16 )に対する不満から民衆による(17 )  
18 東郷平八郎 がおき、戦争継続がともに難しくなってきました。そうした中で、(18 )  
19 バルチック 率いる連合艦隊が、ロシアの(19 )艦隊を日本海で破る(20 )  
20 日本海海戦 が起きました。これを機に(21 )のローズベルト大統領による仲介で停戦し、  
21 アメリカ (22 )条約が結ばれました。  
22 ポーツマス (22)条約では、韓国(朝鮮)における日本の(23 )が承認され、  
23 優先権 (24 )の鉄道の利権、(25 )の租借権、南樺太  
24 奉天~長春間 を得ました。しかし、(26 )人の犠牲を払い、重い税の負担に苦しんだ  
25 旅順・大連 のに、(27 )が得られないことを知ると、政府は(28 )と  
26 約8万 という批判がたかまり、(29 )などの暴動が起きました。  
27 賠償金 (30 )の勝利は、日本を諸外国に認めさせる結果となり、  
28 弱腰だ (31 )廃止の好機となりました。(32 )年、  
29 日比谷焼き討ち (33 )外務大臣のもと、日米間で新たな通商航海条約が結ばれ、日本  
事件 は完全に(34 )を回復し、欧米諸国との(35 )が達  
30 日露戦争 成されました。  
31 不平等条約 また、日露戦争の結果、アメリカやイギリスも(36 )を日本の勢力下に  
32 1911 置くことを認めました。しかし、アメリカも(37 )の進出を狙っていたた  
33 小村寿太郎 め、「(38 )」を強く求めました。日本は、(36)を守るために、ロシ  
34 関税自主権 アと協力するようになり、(39 )との良好な関係が崩れました。  
35 条約改正  
36 韓国  
37 満州  
38 門戸開放  
39 アメリカ

日露戦争の勝利によって、日本が得たものと失ったものをまとめてみよう。

7 塗り替えられたアジアの地図 (182~183 ページ)

- 1 ロシア  
2 植民地支配 日本が(1 )に勝利したことは、(2 )に苦しむ  
3 亡命 アジアの人々に、近代化や独立の希望を与えました。そのため、アジア諸国から日本  
4 留学 へ(3 )や(4 )する人が増えました。しかし、日本人は自分  
5 期待 たちはアジアの中で優れていると思うようになり、アジア諸国の人々の(5 )  
6 軍備の増強 とは異なって、(6 )を増強させ、(7 )の植民地化を  
7 韓国 進めることで、(8 )国としての動きを活発化させました。  
8 帝国主義 (9 )年、日本は(7)を保護国として(10 )を日本の  
9 1906 支配下に置き、(11 )を韓国統監として派遣しました。後には内政も支  
10 韓国 配し、(12 )も解散させました。このため激しい抵抗が起こり、  
11 伊藤博文 1909年には(11)が暗殺される事件が起こりました。これをきっかけに日本は  
12 警察や軍隊 韓国を(13 )し、植民地としました。これを(14 )といいます。  
13 併合 韓国は(15 )と改められ、軍人の(16 )を置いて支配  
14 韓国併合 し、首都漢城(ソウル)も(17 )と名を変えさせました。  
15 朝鮮 朝鮮では、近代化が進められ(18 )などが整備される一方、学校では  
16 朝鮮総督 (19 )の歴史や地理、(19)語が教えられ、朝鮮の文化や歴史を教わる機  
17 京城 会は減らされました。また(20 )が日本語で行われたため、土地を失  
18 鉄道 う農民が続出し、(21 )になるものや、日本や満州に(22 )せ  
19 朝鮮 ざるを得ないものが多数現れました。また、日本の植民地となった台湾では、主要な  
20 土地調査 産業である(23 )を日本の企業が取り仕切るようになりました。  
21 小作人 満州では、1906年に(24 )が発足し、  
22 移住 (25 )の鉄道や、関連する(26 )や製鉄所を経営  
23 製糖業 して、満州における中心的な企業になりました。  
24 南満州鉄道株式 清では、欧米諸国に対抗できず植民地化されていく政府に対する信頼が失われ、革  
会社 命の動きが起こりました。中でも(27 )は亡命先の(28 )で  
25 長春一旅順間 清を倒すための運動を進め、民族の(29 )、(30 )の実現、国民生  
26 炭鉱 活の安定を目指す(31 )を唱えました。  
27 孫文 (32 )年、武昌で起きた反乱をきっかけに清を倒そうという動きが  
28 東京 強まりました。1912年に帰国した孫文が(33 )となり、南京を首  
29 独立 都とする(34 )が成立しました。こうした中で清の宣統帝が退位  
30 民主政 し、清は滅びました。このことを(35 )といいます。孫文に変わ  
31 三民主義 って大総統になった(36 )は孫文との約束を破り独裁政治を行ったため、  
32 1911 政治は大きく混乱しました。  
33 臨時大総統  
34 中華民國  
35 辛亥革命  
36 袁世凱

日露戦争後の10年間で、中国と韓国はどのように変わったか、1文でまとめよう。

8 明治時代の産業と変化する都市、農村（184～187 ページ）

- 1 産業革命                   日本の（1                   ）は、まず繊維工業に代表される（2                   ）、次  
2 軽工業                   いて鉄鋼業に代表される（3                   ）という二つの段階を経て進みました。  
3 重工業                   （2）の分野では、（4                   ）を紡いで綿糸をつくる綿糸（5                   ）と、  
4 綿花                   まゆから生糸をつくる（6                   ）が発達しました。明治時代には（7                   ）  
5 紡績業                   を用いた大工場での大量生産が行われ、日本の工業化の中心となりました。  
6 製糸業                   綿糸（5）では、（8                   ）年代以降、民間でも（9                   ）  
7 輸入機械                  などの大規模な紡績工場がつくられ、（10                   ）産の綿を欧米製の機械で紡いで  
8 1880                   生産力を上げました。1890年代には国内の綿糸生産量が輸入量を上回り、日清戦争  
9 生糸                   後は（11                   ）や（12                   ）にも輸出されました。  
10 インド                   製糸業では、幕末の貿易開始以来、（13                   ）が輸出品の第一位となっていま  
11 清                   ました。（14                   ）県の諏訪地方や（15                   ）県などを中心に生産が進み、  
12 朝鮮                   1890年代には機械による生産が進んで、（16                   ）後には世界最大の  
13 生糸                   生糸輸出国になりました。  
14 長野                   生糸や綿糸を輸出して得た外貨で、ヨーロッパから兵器を輸入するとともに、織物  
15 群馬                   業では、（17                   ）が安くて効率的な（18                   ）をつ  
16 日露戦争                  くり、綿織物の生産高を大きく伸ばしました。  
17 豊田佐吉                  （19                   ）で得た賠償金を使って、福岡県に（20                   ）  
18 豊田式自動織機          がつくられ、（21                   ）年に鉄鋼の生産が始まりました。こうして国内で鉄鋼  
19 日清戦争                  が生産されるようになると、機関車や軍艦も日本で生産できるようになりました。日  
20 八幡製鉄所               清戦争後には多くの鉄道が開通し、（22                   ）間が全線開通しまし  
21 1901                   た。  
22 青森・下関               こうした中で、政府と結びついて、金融、運輸、貿易、鉱山などの様々な分野の企  
23 財閥                   業を経営する（23                   ）が生まれました。（三井、三菱、住友、安田）  
24 小作人  
25 地租                   明治時代には、土地を手放して（24                   ）になる農民が増加しました。この  
26 売買                   背景には不景気で収入が減少しても（25                   ）が変わらないこと、農地の  
27 資本家                   （26                   ）が可能になったことがありました。一方地主の中には、その富で起  
28 次男三男               業したり、株式に投資して（27                   ）になるものも現れました。（24）の生  
29 労働者                   活はなかなか改善されず、多くの工場が建つと、（24）の（28                   ）や娘な  
30 1911                   どは（29                   ）として工場で働くようになりました。  
31 工場法                   労働問題の発生とともに、（30                   ）年、労働時間の制限や児童の労働  
32 大逆事件               禁止を定めた（31                   ）が成立しましたが、十分ではありませんでした。政府  
                                  は社会主義に対する取り締まりを強め、1911年に幸徳秋水ら社会主義者を処刑する  
                                  （32                   ）が起きました。

日本において、社会主義が広まるようになった理由を2文程度でまとめてみよう。

9 明治時代の文化(189~191ページ)

- 1 フェノロサ
- 2 狩野芳崖
- 3 岡倉天心
- 4 横山大観
- 5 黒田清輝
- 6 高村光雲
- 7 二葉亭四迷
- 8 口語体
- 9 正岡子規
- 10 俳句
- 11 夏目漱石
- 12 森鷗外
- 13 島崎藤村
- 14 標準語
- 15 教育勅語
- 16 日清戦争
- 17 授業料
- 18 向上
- 19 男女
- 20 帝国大学
- 21 私立大学
- 22 北里柴三郎
- 23 志賀潔
- 24 野口英世
- 25 長岡半太郎

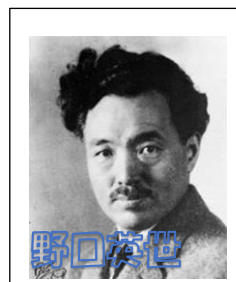
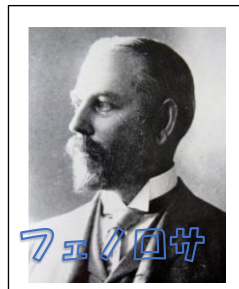
日本の伝統的美術は、アメリカ人の(1 )らによって見直され、(2 )らにより新しい日本画が誕生しました。(1)とともに(3 )は日本美術の素晴らしさを世界に広め、(4 )らとともに日本画の発展に努めました。いっぽう、欧米文化を受け入れる動きも進み、絵画では(5 )や高橋由一らが、彫刻では(6 )や荻原守衛らが欧米諸国から最新の表現方法を学び、日本に広めました。

文学では、現代の文章への転換が進み、(7 )はそれまでの文語体をやめ、(8 )小説を書き、(9 )らは俳諧から写生をとりいれた(10 )を始めました。欧米の考え方が広まると、それまでの上下関係を重んじる考えとの間で悩む人が生まれ、(11 )や(12 )はこれらを小説にあらわしました。また被差別部落の差別の問題や苦悩を「破戒」であらわした(13 )は自然主義の先駆けになりました。(コラム参照のこと)

学校では(14 )が教えられ、国民すべてが意思疎通できるようになりましたが、地方の言葉は軽んじられました。元旦などの祝日には(15 )が読み聞かせられ、時間を守ることや身体能力の向上を図ることも学校の重要な役割でした。

(16 )の賠償金によって、学校の(17 )が免除になると、就学率が急速に(18 )し、日露戦争後には(19 )とも100%近くに達しました。(20 )や専門学校の制度が整えられ、慶應義塾、早稲田などの(21 )も登場しました。女子教育も盛んになり、一般の人々にも様々な知識が広まりました。

大学での研究が盛んになる中で、医学においてはペスト菌を発見した(22 )赤痢菌発見の(23 )、黄熱病研究の(24 )などが活躍し、物理では原子模型の研究で(25 )が高い評価を受けました。



## 10 第一次世界大戦の始まりと総力戦(194~195p)

1 ドイツ

2 海軍

3 植民地

4 イギリス

5 オーストリア

6 三国同盟

7 フランス

8 三国協商

9 アジア

10 帝国主義

11 列強

12 バルカン半島

13 オスマン帝国

14 南下政策

15 ロシア

16 オーストリア

17 スラブ

18 ヨーロッパの火薬

庫

19 1914

20 サラエボ

21 セルビア

22 サラエボ事件

23 ドイツ

24 宣戦布告

25 同盟国

26 連合国

27 第一次世界大戦

28 イタリア

29 中立

30 オーストリア

31 連合国側

32 植民地

33 世界規模

34 軍需工場

35 総力戦

36 飛行機、潜水艦、

戦車、毒ガス

37 自治

38 アメリカ

39 優位

19世紀末、急速に工業化をすすめた(1 )は、(2 )を増強して世界各地に進出しようとした。このため、すでに海軍を増強して(3 )支配を広げていた(4 )と対立するようになりました。(1)が(5 )、イタリアと(6 )を結ぶと、これに対抗して(4)は、(7 )、ロシアと(8 )を結びました。双方の陣営とも、(9 )やアフリカでの植民地の拡大を目指して(10 )政策をとる(11 )の結びつきであり、対立は一層激しくなりました。

一方(12 )では、(13 (トルコ))の支配が弱まったため、(14 )をとって半島に進出しようとした(15 )と、半島に勢力を伸ばそうとする(16 )が対立していました。(15)は、セルビア人などの同じ(17 )民族への影響を拡大しようとしたのに対し、(16)は、同じゲルマン民族のドイツの助けを得て半島に勢力を伸ばそうとしました。そのため(12)は争いが絶えず、「(18 )」と呼ばれました。

(19 )年、オーストリアの皇太子夫妻が、(20 )で(21 )の青年に暗殺される事件が起きました(22 )。そのためオーストリアは、(23 )の支援を受けて(21)に(24 )しました。これをきっかけに、オーストリア、ドイツ、トルコなどの(25 )と、(21)側についたロシア、イギリス、フランスなどの(26 )の間で(27 )が始まりました。三国同盟に属していた(28 )は、初め(29 )を宣言しましたが、領土をめぐる(30 )と対立すると、翌15年に(31 )に立って参戦しました。

第一次世界大戦は、ヨーロッパの列強が自国だけでなく(32 )の人々も動員したため、初めて(33 )の戦争になりました。戦争は予想以上に長引き、徴兵された男性に変わって女性や学生も(34 )で働くなど、民間人も戦争に協力する(35 )になりました。(36 )などの新兵器が使われ、戦死者や被害も甚大でした。政府は国民の支持を得ようと労働者や女性の権利を拡大する政策をとり、植民地に対して(37 )を約束して協力を得ようとした。1917年、中立国の船に攻撃するようになったドイツに対して、(38 )が連合国側に立って参戦し、連合国側が(39 )になりました。

説明してみよう!

第一次世界大戦が今までにない規模の戦争に発展した理由を次の3つの点から説明しよう。

① 同盟 ② 兵器 ③ 植民地

11 第一次世界大戦の拡大と日本(196~197p)

- 1 日英同盟
- 2 連合軍
- 3 ヨーロッパ
- 4 中国
- 5 青島
- 6 太平洋
- 7 南洋群島
- 8 袁世凱
- 9 二十一か条の要求
- 10 ゆずる
- 11 旅順・大連
- 12 満州
- 13 日本人
- 14 反日
- 15 皇帝
- 16 民衆
- 17 1917
- 18 パン・平和・自由
- 19 労働者
- 20 革命
- 21 ソビエト
- 22 継続した
- 23 レーニン
- 24 社会主義国家
- 25 ロシア革命
- 26 無併合・無償金・民族自決
- 27 ドイツ
- 28 国有化
- 29 労働運動
- 30 民族独立運動
- 31 1918
- 32 シベリア出兵
- 33 ソビエト社会主義共和国連邦

1914年、日本は(1)を理由にドイツに宣戦布告し、(2)側として参戦しました。ヨーロッパ諸国が(3)で戦っている間に、(4)に力を伸ばそうとしたのです。日本は、ドイツの拠点であった山東省の(5)などを占領し、(6)にあるドイツの(7)も手に入れました。さらに日本は1915年、(8)が率いる中華民国に(9)を示しました。

この要求では、山東省におけるドイツの利権を日本に(10)ほか、(11)の租借期間などを延長し、「(12)」やモンゴルに利権を広げること、製鉄事業を日中共同で行うこと、政治外交軍事顧問に(13)を雇うことなどの内容でした。これに対し中国では反対運動がおこり、中国政府も抵抗しましたが、政権の基盤が弱い(8)は、ほとんどの要求を認めました。これをきっかけに(14)運動が始まることになりました。

第一次世界大戦中、ロシアでは戦争を続ける(15)に対して、食料や燃料の深刻な不足に苦しむ(16)の不満が高まっていきました。(17)年、「(18)」を求めて女性や(19)が抵抗運動を起こすと、兵士や学生も参加して(20)が一気に広がりました。そして、労働者や兵士による代表機関(21)が結成され、皇帝は退位しました。

その後で来た臨時政府も戦争を(22)ため、(23)が武力で臨時政府を倒し、(21)中心の(24)が世界で初めて誕生しました。これを(25)といいます。(23)は交戦国に(26)の条件で戦争をやめるように呼びかけましたが、到底聞き入れられず、単独で(27)と講和条約を結びました。また、工場や銀行の(28)を進め、社会主義国家の建設に努めました。

ロシアが社会主義革命によって倒れたことは、資本主義国家にとっては衝撃的でした。この影響で(29)や植民地の(30)が活発になるのを恐れた資本主義諸国は、(31)年に(32)を行い、革命の邪魔をしました。しかし、この試みは失敗し、1922年に(33)が成立しました。

説明しよう

①日本が21か条の要求を出した理由を1文で書きましょう。

②資本主義諸国が、ロシア革命の邪魔をしようとした理由を1文であらわそう。

## 12 第一次世界大戦以降のヨーロッパ（1918～1919年）

- 1 ドイツ 1918年、(1 )で革命がおり、帝政が倒れました。(1)の臨時政府は直ちに  
2 休戦条約 連合国と(2 )を結び、第一次世界大戦は(3 )の勝利で終わりました。  
3 連合国 (4 )以上の戦死者を出す大戦争でした。  
4 800万人 (5 )年、パリ講和会議が開かれ、連合国とドイツの間に(6 )  
5 1919 条約が結ばれました。この条約は(7 . . )の利益を優先し、ドイツに対して(8 )  
6 ベルサイユ という内容でした。ドイツは、莫大な(9 )の支払いを義務付けられ、  
7 イギリス・フランス・ 軍備は縮小、海外すべての(10 )と本国の一部を失いました。アジア  
アメリカ におけるドイツの利権は(11 )に引き継がれました。オーストラリアやトルコも同様の  
8 報復する 条約を結ばされました。  
9 賠償金 講和会議では、(12 )大統領(13 )が(14 )の考え  
10 植民地 を呼びかけました。その結果、(15 )などバルカン半島をはじめとした  
11 日本 (16 )の諸民族は独立を認められました。また、(13)の提案をもと  
12 アメリカ に、(17 )年、(18 )を平和的に解決するための機関として、  
13 ウィルソン (19 )が(20 )のジュネーブを本部に設立されました。イギリス、フ  
14 民族自決 ランス、(21 )、(22 )が常任理事国になりましたが、アメリカは  
15 ユーゴスラビア (23 )の反対で加盟できず、敗戦国の(24 )や社会主義国の(25 )は  
16 東ヨーロッパ 加盟を認められなかったため、強い力をもてませんでした。  
17 1920 ドイツは、1919年に(26 )を基礎とする共和国に移行し、満20歳以上  
18 国際紛争 の男女(27 )、国民主権、(28 )が組合を結成する権利(2  
19 国際連盟 9 )を定めており、世界で最も(30 )な憲法でした。しかし、莫大な賠償金  
20 スイス を支払うために紙幣を大量に発行して(31 )が発生し、物価が5000  
21 イタリア 億倍になるなど経済が安定せず、ナチスが台頭する基盤ができてきました。  
22 日本 国際連盟においては、日本は常任理事国を務め、(32 )が事務局次長として  
23 議会 人種差別撤廃などに努めました。国際連盟の結成を呼び掛けたアメリカ大統領  
24 ドイツ (33 )は(34 )を受賞しました。  
25 ソ連  
26 ワイマル憲法  
27 普通選挙  
28 労働者  
29 団結権  
30 民主的  
31 インフレーション  
32 新渡戸稲造  
33 ウィルソン  
34 ノーベル平和賞

説明してみよう

第一次世界大戦が終わることによって、日本とドイツの立場はそれぞれどのように  
変化したと言えるか、1文でそれぞれまとめてみよう

日本…

ドイツ…



### 13 アジアの民族自決と国際協調(200~201p)

- 1 朝鮮  
2 民族自決  
3 3月1日  
4 独立万歳  
5 三一独立運動  
6 武力  
7 21か条の要求の撤廃  
8 列強  
9 ドイツの利権  
10 中国民衆  
11 1919年5月4日  
12 北京  
13 五四運動  
14 孫文  
15 中国国民党  
16 中国共産党  
17 イギリス  
18 自治  
19 民族運動  
20 ガンディー  
21 非暴力・不服従  
22 弁護士  
23 人種差別  
24 綿製品  
25 塩の行進  
26 アメリカ  
27 ワシントン会議  
28 主力艦  
29 日英同盟  
30 ロンドン  
31 国際協調

日本の植民地であった(1 )では、第一次世界大戦後の(2 )の考え方に刺激を受けた人々が、1919年(3 月 日)に京城(ソウル)で独立宣言を行い、「(4 )」と叫ぶ民族運動が各地に広まりました。これを(5 )といいます。朝鮮総督府は、警察や軍隊を派遣してこの運動を抑えましたが、日本政府は朝鮮を(6 )で抑える政策を転換し、集会や言論の自由を一定認めるようになりました。

中国は、(7 )をパリ講和会議で求めました。しかし、(8 )によってこれは退けられ、(9 )は日本に引き継がれました。これに対して(10 )の不满が強まり、(11 年 月 日)に(12 )で学生を中心とした抗議行動が起こり、中国国内に広がりました(13 )。こうした中で抵抗運動の重要性を痛感した(14 )は、1919年に(15 )を結成し、(16 )やソ連と協力して、民族独立に向けた動きを強めました。第一次世界大戦中、(17 )は、インドに対して戦後の(18 )を約束し、インド兵を動員しました。しかし、その約束は守られず、逆にインドの(19 )を弾圧する法律さえできました。そのため、独立を求める人々は(20 )の指導でイギリス製品の使用をやめたり、税金を納めることを拒否する(21 )の抵抗運動を繰り広げました。

インドに生まれた(20)は、ロンドンで(22 )の資格をとり、南アフリカでは自ら(23 )も体験しました。第一次世界大戦時に帰国し、(21)運動を指導しました。伝統的な方法でつくられた(24 )を愛用することでイギリスにお金が渡らないようにすることや、塩税に抗議して塩を作り暴力を振るわず逮捕されて相手に負担を与える(25 )などが民衆の広い支持を受けました。

戦争を防ぐ手立てとして、(26 )の呼びかけで(27 )が開かれ、海軍の(28 )の制限や(29 )の解消が行われました。また日米英など9か国によって、中国の主権を尊重する条約が結ばれました。中国、太平洋地域に進出をもくろんでいた軍部や経済界は、これは日本の進出を欧米諸国が抑えようとするものだと不满を持ちました。日本政府は不戦条約や(30 )での海軍軍縮条約を締結して(31 )の方針をとりました。

中国とインドでの民族運動について、重要な人物の名を一人あげて、一文でまとめてみよう。

中国(孫文)・・・

インド(ガンディー)・・・

## 内閣の成立(204~205P)

### 1 藩閥

### 2 陸軍

### 3 桂太郎

### 4 憲法の精神

### 5 民衆

### 6 護憲運動

### 7 犬養毅

### 8 尾崎行雄

### 9 吉野作造

### 10 民本主義

### 11 反映

### 12 美濃部達吉

### 13 船舶

### 14 鉄鋼

### 15 上回る

### 16 大戦景気

### 17 成金

### 18 庶民

### 19 富山県

### 20 米騒動

### 21 立憲政友会

### 22 原敬

### 23 閣僚

### 24 政党内閣

### 25 盛岡藩

### 26 法律

### 27 外交官

### 28 立憲政友会

### 29 華族

### 30 平民宰相

### 31 暗殺

日本では、日露戦争以降政党中心の内閣が成立することもありましたが、いまだに薩摩、長州を中心とする(1 )の勢力が強く、1912年には立憲政友会を基礎とした内閣が(2 )の反対で倒れ、陸軍や藩閥に支持された(3 (萩市出身))内閣が成立しました。

この状況に対して、(4 )に基づく政治を守り、(5 )の考えを反映していこうとする(6 )が起こりました。その中心となったのが立憲国民党の(7 )と、立憲政友会の(8 )でした。この運動の結果1913年に桂内閣は辞職に追い込まれました。こうした運動によって内閣が倒れたのは初めてでした。

第一次世界大戦中は、ヨーロッパやアメリカの影響で(8 )を広める動きが拡散し、東京大学の政治学者(9 )は国民本位の政治を行うべきとする(10 )をとらえ、政治に民衆の考えを(11 )していこうと主張しました。また、法学者の(12 )は天皇機関説を唱え、憲法論として政党政治を支えました。

第一次大戦で日本はアメリカとともに戦争の被害を受けず、戦争に必要な(13 )や(14 )を生産することで、輸出額が輸入額を(15 )ようになりました。この好景気を(16 )といい、(17 )と言われる金持ちが増えました。しかし、好景気は物価の上昇を招き、(18 )の生活は苦しくなりました。シベリア出兵によって軍が食料としてコメを買い込むと予想した商人がコメを買い占めたため、コメ不足が進み、1918年、(19 )の主婦がコメの積み出しに反対して、安売りを要求しました。こうして始まった事件を(20 )といい、全国の都市に広がりました。政府はさらにアジア各地で買い占めを行ったため(20)はアジア各地でも起きました。

こうした中、陸軍出身の寺内正毅(山口市平川出身)首相は辞職し、国会の第一党である(21 )の党首(22 )が首相になりました。(22)内閣は、軍以外の(23 )を(21)の党員が占める、本格的な(24 )でした。

<原敬(はらたかし)>

(25 (岩手県))の藩士の子に生まれ、東京でフランス語や(26 )を学びました。新聞記者や(27 )を経て(28 )に入り、政治の道に進みました。1918年に、内閣総理大臣となった時に(29 )でも藩閥でもなかったことから「(30 )」と呼ばれました。しかし、普通選挙を実現できなかったことに不満をもつ青年に東京駅で(31 )されました。

次の言葉を1文で説明しよう

護憲運動…

政党内閣…

## と普通選挙(206~207P)

### 1 護憲運動

### 2 護憲

### 3 政党

### 4 加藤高明

### 5 1925

### 6 25

### 7 選挙権

### 8 男子普通選挙

### 9 政党内閣

### 10 8

### 11 国際協調

### 12 民本主義

### 13 デモクラシー

### 14 大正デモクラシー

### 15 治安維持法

### 16 天皇制

### 17 私有財産制

### 18 死刑

### 19 平和

### 20 平塚らいてふ

### 21 市川房枝

### 22 ロシア革命

### 23 労働組合

### 24 労働争議

### 25 小作料

### 26 小作争議

### 27 1922年

### 28 解放令

### 29 1922

### 30 全国水平社

原内閣ののち、1923年、関東大震災の後に再び政党を無視した清浦圭吾内閣が誕生しました。そのような中で1924年、2度目の(1)が起こり、(2)をスローガンに掲げた(3)が衆議院の多数を占めました。護憲三派のリーダーであった(4)を中心とした内閣が組織され、(5)年に、(6)歳以上のすべての男性に(7)を与える(8)が実現しました。加藤内閣成立後、(9)は政党を変えながら(10)年間続き、軍備の縮小と(11)の方針がとられ続けました。

このように護憲運動と選挙権の獲得、(12)と政党内閣など、民主主義(13)に基づく社会運動、風潮のことを(14)といいます。

しかし、社会主義や共産主義の伸長を恐れた政府は1925年に(15)を成立させました。これは(16)を否定したり、(17) (資本主義)の廃止を主張するものに重い刑罰を科すもので、1928年には最高刑が(18)になりました。その後の改定で、政府に反対するものや(19)を主張する者も取り締まられるようになりました。

女性差別の解消を求める社会運動も盛んになりました。1911年に(20)が青鞥社をつくり、女性に対する古い考え方や慣習を批判しました。1920年代になると(20)は(21)らと女性の政治参加を求めて運動に取り組みました。第二次世界大戦を経て女性は選挙権を獲得し、(21)は国会議員に当選しました。

労働者による運動も盛んになり、(22)の影響を受けて労働者は(23)を組織し、待遇の改善を求めて(24)を起こしました。農村では(25)の引き下げを求めて(26)が起きました。社会主義は弾圧されていましたが、釈迦運動の高まりとともに盛んになり、(27)に日本共産党が結成しました。

部落差別は、「(28)」が出された後も就職や結婚を中心に差別がなくなかったため、自らの手による解決を求めて、(29)年に、京都で(30)が結成されました。アイヌの人々や台湾、朝鮮における独立運動も高まりました。

どうして普通選挙と治安維持法が同時に作られたのか、考えて説明してみよう